

JLPTUFS : Japanese Language Program of TUFS

<「全学日本語プログラム」概要>

全学日本語プログラムは、東京外国語大学で学ぶ留学生に対して日本語の運用力向上を目指して開講されているプログラムです。勉学上、あるいは研究上、日本語学習を希望する留学生のためにカリキュラムが組まれています。

東京外国語大学の新学期は4月（春学期）と10月（秋学期）から始まります。本プログラムは、各学期の授業が15週間、実施されます。ただし、履修する学生が定員に満たないなどの理由によって、クラスが開講されない場合もありますので注意してください。

<プログラムの概要>

全学日本語プログラムでは、「初級」「初中級」「中級1」「中級2」「中上級」「上級1」「上級2」「超級」の8段階レベルの授業を開講しています。

次の表の◎と○は、留学生のカテゴリ別による履修可能コースを示しています。各クラスには定員（10名～20名）があり、定員に余裕が無い場合は、◎のあるカテゴリの学生の履修が優先されます。

留 学 生 の カ テ ゴ リ ー	集 中 コース	レギュラーコース	
		総合	技能
<予備教育>研究留学生 (Research Students)	◎	◎	◎
教員研修留学生 (Teacher Training Students)	◎	◎	○
研究生 (Research Students)	○	○	◎
特別聴講学生 (ISEPTUFS/Short-term Exchange Students)	○	◎	○
日本語・日本文化研修留学生 (Japanese Studies Students)	—	◎	○
日韓共同理工系学部留学生 (Students in the Japan-Korea Joint Government Scholarship Program)	—	◎	◎
委託留学生 (Visiting Students)	○	○	○

<本学到着（来日）から日本語学習開始までの流れ>

オリエンテーション

各カテゴリ別のオリエンテーションに出て、全学日本語プログラムの内容について知る。「履修登録票」を入手し、履修登録の仕方を学ぶ。
プレイスメント・テストを受けていない者は、受験する。
ひらがな未習の者は、ひらがな教室に出る。



オリエンテーション日程（留学生のカテゴリー別に実施）

○ISEPTUFS及び特別聴講学生（Short-term Students）

4月3日（木）11時～11時30分 場所：研究講義棟1階「112教室」

○研究生（Research Students）

4月3日（木）11時～11時30分 場所：研究講義棟1階「113教室」

○研究留学生＜予備教育＞（Preparatory Research Students）

未定

○教員研修留学生（Teacher Training Students）

4月3日（木）15時～15時30分 場所：留学生日本語教育センター棟4階「402教室」

○日本語・日本文化研修留学生（日研生）

4月3日（木）14時～15時 場所：留学生日本語教育センター棟2階「302教室」



ひらがな未習の者はひらがな教室に出、ひらがなを学ぶ。

○4月4日（金）

12：40～14：40

留学生日本語教育センター棟2階
「211」教室



日本語既習の者はプレイスメント・テストを受けて、自分のレベルを知る。

○4月4日（金）12：40～14：40

場所：留学生日本語教育センター棟

- ISEPTUFS、特別聴講学生「216」教室
- 研究生 「103」教室
- 研究留学生＜予備教育＞「215」教室

鉛筆、消しゴム、学生証を持参すること。

そのほかのカテゴリーの人は相談してください。

※新しく漢字クラスを受講したい学生は、必ず漢字のプレイスメント・テストを受けてください。

○4月4日（金）11：00～11：30

場所：留学生日本語教育センター棟「217」教室



レベル発表

○4月7日（月）10：00 留学生日本語教育センター棟1階「掲示板」

※漢字クラスは4月7日（月）10：00までに掲示します。



履修登録相談

それぞれの担当の先生に相談してください。

↓

授業開始

○4月8日(火)

↓

履修する授業を決めたら大学会館の書店で**教科書を購入**する。教科書のコピーは不可。

↓

履修登録締め切り ○4月21日(月)

「履修登録票」に履修するクラスを記入して、留学生課に提出する。

※注意：全学日本語プログラムで日本語学習を希望する学生は、上記、「履修登録票」に必要事項を記入し、締め切り日までに登録しなければなりません。この「履修登録票」を締め切り日までに提出しない学生は、日本語学習の意思がないとみなされ、その後の履修登録ができなくなります。

<ひらがな教室>

日本語をはじめて学習する留学生に対して、表音文字である「ひらがな」を指導する授業です。日本語クラスで使用する教科書は、すべて日本語で書かれていますので、日本語クラスが始まる前に、すべての留学生は、基本的な文字の読み書きができることが期待されています。ひらがな教室で「ひらがな」を学習しておくことにより、授業開始後の学習が効率よく行えることとなります。

<開講クラス>

全学日本語プログラムには「集中コース」と「レギュラーコース」の2コースがあります。開講されるクラスとクラス番号は以下の通りです。

「集中コース」は「100」と「200」のみで、週10コマの授業があります。「レギュラーコース」は300レベル以上で、「総合」クラスと「技能別」クラスによって構成されています。「総合」クラスは「301」「401」「501」が週5コマ、「601」3コマ、「701」2コマです。「技能別」クラスは週各1コマです。超級(800レベル)では、「総合」はなく、「トピック別」クラスが4コマ開講されます。

300レベル以上の学生を対象に、漢字クラス(「901」「902」「903」「904」:週1コマ)が開講されています。受講する漢字クラスは、300レベルの学生が「901」、400~500レベルの学生が「902」、600レベルの学生が「903」、700レベル以上の学生が「904」のクラスが標準となります。**新しく漢字クラス(「901」~「904」)を受講したい学生(新入生を含む)は、必ず漢字プレイスメント・テストを受けてください。**2013年度春学期に漢字クラスを受講した学生は、その漢字クラスを修了していれば、次の漢字レベルの授業を履修することができます。

発音クラス(「911」)は、500レベル以上の学生を対象としています。受講希望者は直接それぞれの教室に行ってください。

〈レベル別開講クラスとクラス番号一覧〉

レベル	集中 コース	レギュラーコース								
		総合	技能／トピック別 (週1コマ)					漢字	発音	
初級 100～	100 (10コマ)									
初中級 200～	200 (10コマ)									
中級1 301～		301 (5コマ)	文法 311	読解 312	聴解 313	文章 314	口頭 315	漢字 901		
中級2 401～		401 (5コマ)	文法 411	読解 412	聴解 413	文章 414	口頭 415	902		
中上級 501～		501 (5コマ)	文法 511	読解 512	聴解 513	文章 514	口頭 515	903		
上級1 601～		601 (3コマ)	文法 611	読解 612	聴解・時事 613	文章 614	口頭 615	904	発音 911	
上級2 701～		701 (2コマ)	文法 711	読解 712	聴解・時事 713	文章 714	口頭 715			
超 級 801～				ライティング 824	時事 826	ドラマ 827	ビジネス 828			

※文章＝「文章表現」、口頭＝「口頭表現」、ライティング＝「アカデミック・ライティング」、
時事＝「時事日本語」、ドラマ＝「ドラマ・ドキュメンタリー」、ビジネス＝「ビジネス日本語」

※ 技能／トピック別クラス、漢字、発音：1コマ／週

〈「履修登録票」の提出〉

履修登録するクラスが決定したら、履修登録票にクラス名をマークして、留学生課に提出する必要があります。時間割を見て、他のクラスと時間等が重複していないか、また、自分にふさわしいレベルの日本語クラスかを確認して登録してください。

なお、学生のカテゴリー（＜予備教育＞研究留学生等）によっては、出席すべきクラスが決定していて、自由に他のクラスを履修できない場合もあります。

履修の仕方がわからない時や履修できるクラスについて質問がある場合は、プレイスメント・テストの結果発表後、履修登録相談を受け付けますので、担当者に聞いてください。

〈レベルの変更〉

授業開始前、あるいは授業開始2週間以内に限って、レベルの変更が認められます。レベルの変更を希望する場合は、レベル・コーディネーターに相談してください。

レベル・コーディネーターは、プレイスメント・テストの結果とインタビューの様子、あるいは前学期の履修状況に基づいて適切なレベルを検討します。

レベル (クラス番号)	レベル・コーディネーター
初 級 (100:集中)	藤森 弘子
初 中 級 (200:集中)	伊集院 郁子
中 級 1 (301~のクラス)	鈴木 美加
中 級 2 (401~のクラス)	工藤 嘉名子
中 上 級 (501~のクラス)	花蘭 悟
上 級 1 (601~のクラス)	菅長 理恵
上 級 2 (701~のクラス)	坂本 恵
超 級 (801~のクラス)	坂本 恵

<クラスの変更>

授業開始後、2週間以内に限ってクラスの変更が認められます。クラスの変更を希望する場合は、クラスの担当教員に変更したい理由を知らせてください。その後で、レベル・コーディネーターに新たに履修したいクラスを知らせて、手続きを行ってください。

履修するクラスが最終的に決まったら、レベル・コーディネーターと学生アドバイザーの双方に連絡してください。

留 学 生 の カ テ ゴ リ ー	学生アドバイザー
研究留学生 (Research Students) <予備教育>	花蘭 悟
教員研修留学生 (Teacher Training Students)	坂本 恵
研究生 (Research Students)	鈴木 美加
特別聴講学生 (ISEPTUFS or Short-term Students)	伊集院 郁子
日本語・日本文化研修留学生 (Japanese Studies Students)	菅長 理恵
日韓理工系学部留学生 (Students in the Japan-Korea Joint Government Scholarship Program)	花蘭 悟
委託留学生 (Visiting Students)	伊集院 郁子

<教科書の購入>

大学会館内にある大学生協の書店で購入してください。履修登録後は、教科書を用意しないと、授業を受けることはできません。

<履修クラスと単位>

全学日本語プログラムで開講される日本語クラスの単位認定は、留学生が所属するカテゴリー (来日時プログラムの) で必要に応じて単位の認定が行われることがありますので、

各プログラムのアドバイザーに問い合わせてください。

予備教育として日本語クラスを履修する留学生、本学学部、大学院に在籍する研究生は、一切単位が認められませんが、必要に応じて履修証明書を発行します。

<履修クラスの成績>

全学日本語プログラムで開講される日本語クラスの成績は、担当教員が以下の項目を評価の対象として行います。

(1)クイズ、(2)中間試験および期末試験、(3)課題および宿題の提出、(4)授業中の参加度、(5)その他、クラスで課された課題の達成度

なお、最終成績は、S（秀）＝90-100、A（優）＝80-89、B（良）＝70-79、C（可）＝60-69、F（不合格）＝0-59 で表されます。100～600 レベルの学生は、自分のレベルの授業3単位以上（漢字、発音クラスは除く）においてB以上をとれば、次のレベルへ進級できます。700 レベルの学生は2単位以上（漢字、発音クラスは除く）においてB以上をとれば800 に進級できます。CとFは満足すべき上達が見られないということで、次のレベルへの進級は原則として認められません。

<履修クラスへの出席>

全学日本語プログラムで開講される日本語クラスの出席はすべて留学生課で管理されています。法務省入国管理局の指導のもとに、留学生の出席状況は必要に応じて報告されます。出席状況が好ましくない場合、成績判定ができなくなります。また、留学生としての身分が失われる可能性がありますので、注意してください。

<修了認定>

全学日本語プログラムでの修了認定は、すべて学生が所属するカテゴリー別で行われます。したがって、本プログラムとしての修了認定はありません。

修了認定に関する詳細は、学生アドバイザーに問い合わせてください。

<試験に関わる規定>

クイズ、中間試験、期末試験の実施中に不正行為を行った場合、その場で、受験資格を失います。また、履修しているすべてのクラスの登録が抹消されます。

<「中間試験」および「期末試験」の追試・再試>

開講されている日本語クラスの「中間試験」および「期末試験」は、担当教員が決めた所定の日時で受験することになっています。何らかの理由で予定通り受けられない、あるいは受けられなかった場合、その理由を述べ、追試あるいは再試の申請を行ってください。

試験の場所については掲示板に発表されますので、注意してください。

<掲示板>

事務棟留学生課の掲示板とは別に、留学生日本語教育センター棟1階に「全学日本語プログラム」の掲示板があります。試験、教室変更等のお知らせ、学生呼び出しなどの重要な情報がありますので、毎日、必ず見るようにしてください。

<レポート提出ボックス>

留学生日本語教育センター棟1階の学生用メールボックス室に、レポート提出ボックスがあります。授業での宿題などを提出する箱です。担当の先生の指示に従って利用してください。

<除籍>

以下の場合、全学日本語プログラムの日本語クラスに出席できなくなります。その結果、成績判定、及び認定を得られなくなりますので、十分に注意してください。

- (1) 欠席時間数が、開講時間数の20%を超えた場合。
- (2) 理由なく欠席することが頻繁な場合。
- (3) 授業料等が大学に支払われていない場合。
- (4) 欠席等によって、学習を継続することが困難であると認められた場合。

<証明書の発行>

必要に応じて、以下の証明書を発行します。留学生課に申し込んでください。

- (1) 成績証明書
- (2) 出席証明書
- (3) 単位認定証明書
- (4) その他の証明書

<授業時間>

全学日本語プログラムは、以下の授業時間で開講されます。

	授 業 時 間
1時限	8:30~10:00
2時限	10:10~11:40
	昼休み
3時限	12:40~14:10
4時限	14:20~15:50
5時限	16:00~17:30

<2014年度 全学日本語プログラム春学期予定 (Academic Calendar Spring 2014) >

予 定	2014年度 春学期 (4月～7月)
プレイスメント・テスト	4月4日 (金) <u>12:40～14:40</u>
ひらがな教室	4月4日 (金) <u>12:40～14:40</u>
レベル発表	4月7日 (月) 10:00～
クラス履修登録期間	4月8日 (火) ～4月21日 (月)
日本語授業期間	4月8日 (火) ～7月23日 (水)
中間試験	掲示により通知
休講 (学内競漕大会)	5月28日 (水)
期末試験	掲示により通知
答案返却日	掲示により通知
春学期終了日	7月23日 (水)

※その他「国民の祝日」等には授業は行われませんので、注意してください。

<非常時における対応>

◆以下のような非常時には、留学生課に電話をして、適切に対応してください。

- (1) 交通ストライキによる欠席
- (2) 交通ストライキによる授業の扱い
- (3) 病気などによる欠席
- (4) 台風などによる授業の扱い
- (5) その他

<質問・相談>

◆次のような質問は、各クラスの先生に相談してください。

- (1) 授業に関する質問
- (2) 学習に関する質問
- (3) 教科書や教材に関する質問
- (4) 欠席に関する質問
- (5) 試験に関する質問
- (6) 成績、評価に関する質問

◆次のような質問は、レベル・コーディネーターに相談してください。

- (1) 日本語クラスのレベルに関する質問
- (2) クラスの変更や登録に関する質問
- (3) 進級に関する質問

◆次のような質問は、学生アドバイザーに相談してください。

- (1) クラスの変更や登録に関する質問や相談
- (2) クラスの単位認定や修了認定に関する質問
- (3) 個人的な問題に関する質問や相談
- (4) クラスの先生に話せないような学習に関する質問や相談
- (5) クラスを長期間欠席する必要がある場合の相談
- (6) 生活全般に関する質問や相談
- (7) 一時帰国、海外旅行など出国に関する質問や相談

◆次のような質問は、留学生課の職員に相談してください。

- (1) 「履修登録票」に関する質問や相談
- (2) 各種証明書に関する相談

◆次のような事柄は、留学生課に届け出てください。

- (1) 住所、電話番号などの変更
- (2) 帰国や一時出国などの予定